

平成30年度 ごみ収集量、資源回収量 及びし尿収集量・処分量について

【特別区】

ごみ収集量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2 ページ

23区及び東京二十三区清掃一部事務組合各部署からの提供データ並びに廃棄物情報管理システムのデータを「ごみ種ごと」に積み上げて年度量を集計した。

資源回収量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3 ページ

23区提供データを「回収形態別」「品目別」に積み上げて年度量を集計した。

し尿収集量・処分量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4 ページ

23区及び清掃一部事務組合からの提供データを集計した。

※上記はいずれも東京二十三区清掃一部事務組合および特別区清掃リサイクル主管課長会で集計したものです。

【文京区】

ごみ量・資源回収量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5 ページ

ごみ量は廃棄物情報管理システムのデータを文京区分のみ「ごみ種ごと」に積み上げて集計した。資源量は例月の月報データを積み上げて集計した。

平成30年度ごみ量について

平成30年度における23区のごみ量は、区収集及び持込ごみ量を合わせて、2,754,295.57トンでした。これは前年度と比較して、11,272.50トン、率にして0.4%の減少でした。

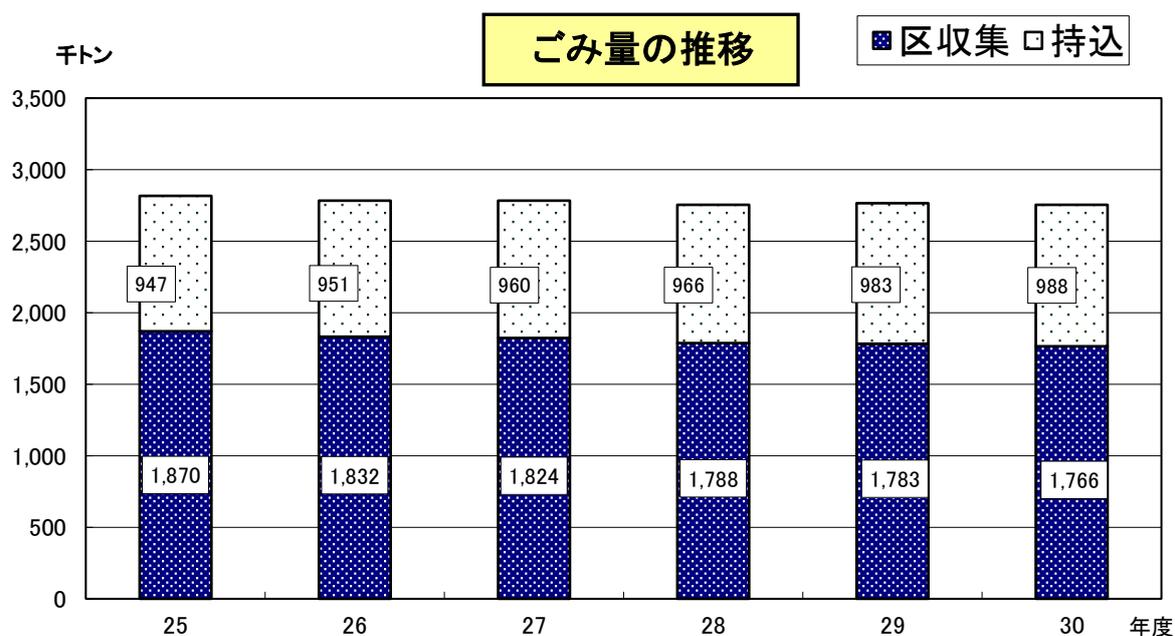
内訳は、区収集ごみ量は、1,766,117.08トンで、前年度と比較して16,467.15トン、率にして0.9%の減少でした。

さらに詳細については、前年度と比較して、可燃ごみは12,796.66トン、率にして0.8%減少、不燃ごみは4,506.17トン、率にして9.6%減少、粗大ごみは835.68トン、率にして1.4%増加しました。

また、持込ごみ量は、988,118.49トンで、前年度と比較して5,194.65トン、率にして0.5%増加しました。

ごみ収集量及び持込ごみ量

種 別	収 集 量 及 び 持 込 ご み 量 (t)			前 年 度 比 (%)
	平成30年度	平成29年度	増 減	
区 収 集	1,766,177.08	1,782,644.23	▲ 16,467.15	99.1
可 燃	1,664,456.78	1,677,253.44	▲ 12,796.66	99.2
(うち管路ごみ)	(4,124.78)	(4,190.64)		
不 燃	42,208.58	46,714.75	▲ 4,506.17	90.4
粗 大	59,511.72	58,676.04	835.68	101.4
持 込 込	988,118.49	982,923.84	5,194.65	100.5
計	2,754,295.57	2,765,568.07	▲ 11,272.50	99.6



注) 表とグラフの数値について、端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合があります。

平成30年度資源回収量について

平成30年度における23区の資源回収量(ステーション(集積所)・拠点回収、ピックアップ回収、集団回収)は、約525,349トンでした。

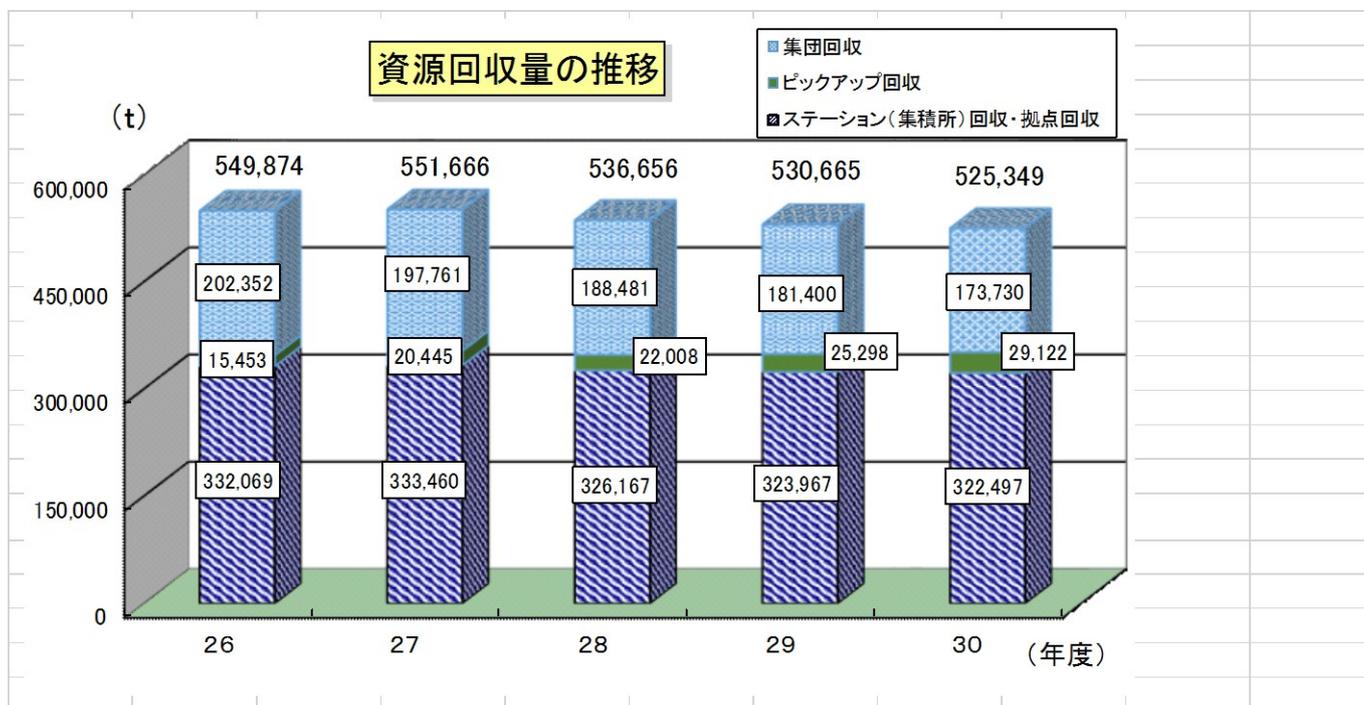
また、回収実績は、前年度と比較して量で約5,316トン、率にして約1.0%の減少でした。

《回収形態別回収量》

種 別	回 収 量 (t)			前年度比 (%)
	平成30年度	平成29年度	増 減	
ステーション(集積所)回収・拠点回収	322,497	323,967	▲1,470	99.5
ピックアップ回収	29,122	25,298	3,824	115.1
集 団 回 収	173,730	181,400	▲7,670	95.8
合 計	525,349	530,665	▲5,316	99.0

注) 1 ステーション(集積所)回収・拠点回収については、回収形態が各区で異なるため、合算しています。

2 表とグラフの数値については、端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合があります。



《品目別回収量》

種 別	行政による資源回収				集団回収			
	回収量 (t)			前年度比 (%)	回収量 (t)			前年度比 (%)
	30年度	29年度	増 減		30年度	29年度	増 減	
紙 類	150,149	151,702	▲1,553	99.0	162,423	170,219	▲7,796	95.4
布 類	2,502	2,362	140	105.9	3,491	3,508	▲17	99.5
缶	23,237	23,533	▲269	98.7	4,480	4,359	121	102.8
びん	81,429	83,371	▲1,942	97.7	1,858	1,929	▲71	96.3
プラスチック類・その他	65,179	62,999	2,180	103.5	1,478	1,386	92	106.6
粗大ごみ(ピックアップ)	11,335	11,288	47	100.4	—	—	—	—
不燃ごみ(ピックアップ)	17,788	14,010	3,778	127.0	—	—	—	—
合 計	351,619	349,265	2,354	100.7	173,730	181,400	▲7,670	95.8

注) 1 集団回収の缶は、その他金属を含みます。

2 その他は、電池等を含みます。

3 表の数値については、端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合があります。

平成30年度し尿等処理状況について

平成30年度における23区のし尿等収集量は13,332.57トンで、前年度と比較して585.08トン、4.2%の減少でした。

内訳は、し尿が1,248.43トン、浄化槽汚泥が3,296.18トン、ビルピット汚泥が14.03トン、ディスポーザ汚泥が4,972.35トン、汚水等が3,801.58トンでした。

また、し尿等処理量は13,260.28トンで、前年度と比較して711.58トン、5.1%の減少となりました。

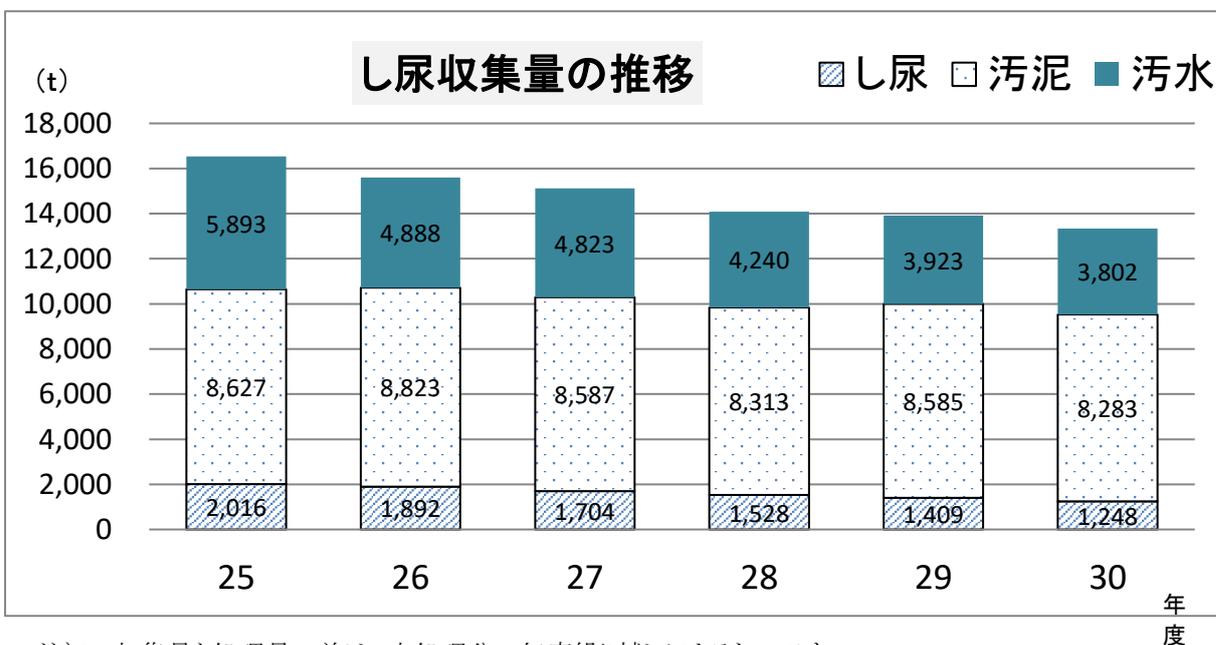
内訳は、下水道投入が12,932.00トン、焼却が269.97トン、埋立が58.31トンでした。

(1) し尿等収集量

種 別	収 集 量 (t)			前 年 度 比 (%)
	平成30年度	平成29年度	増 減	
し 尿	1,248.43	1,409.37	▲ 160.94	88.6
浄 化 槽 汚 泥	3,296.18	3,393.82	▲ 97.64	97.1
ビ ル ピ ッ ト 汚 泥	14.03	15.77	▲ 1.74	89.0
デ ィ ス ポ ー ザ 汚 泥	4,972.35	5,175.57	▲ 203.22	96.1
汚 水 等	3,801.58	3,923.12	▲ 121.54	96.9
計	13,332.57	13,917.65	▲ 585.08	95.8

(2) し尿等処理量

種 別	処 理 量 (t)			前 年 度 比 (%)
	平成30年度	平成29年度	増 減	
下 水 道 投 入	12,932.00	13,626.00	▲ 694.00	94.9
焼 却	269.97	299.52	▲ 29.55	90.1
埋 立	58.31	46.34	▲ 11.97	125.8
計	13,260.28	13,971.86	▲ 711.58	94.9



注) 1 収集量と処理量の差は、未処理分の年度繰り越しによるものです。

また、表とグラフの数値について、端数処理のため、内訳と合計が一致しない場合があります。

2 汚水等とは、主に品川清掃作業所の洗浄によるものです。

3 汚泥とは、浄化槽汚泥・ビルピット汚泥・ディスポーザ汚泥の合計です。

平成30年度 文京区のごみ量・資源回収量について

1 ごみ量

単位：t

種類		平成30年度	平成29年度	増 減	前年度比
区 収 集 ご み	可燃ごみ	39,585	39,755	▲170	99.6%
	不燃ごみ	1,486	1,517	▲31	98.0%
	粗大ごみ	1,314	1,324	▲10	99.2%
	(粗大ごみ資源化分)	(359)	(369)	▲10	(97.3%)
	計	42,385	42,596	▲211	99.5%
持込ごみ		23,868	23,211	657	102.8%
合計		66,253	65,807	446	100.7%

東京23区清掃一部事務組合清掃事業月報（確定値）による

注1）端数処理の関係で合計値等が合わない場合あり。

注2）粗大ごみ資源化分は、清掃一組施設に搬入されないため、合計に含めていない。

2 資源回収量

単位：kg

	平成30年度	平成29年度	増 減	前年度比
合計	12,946,656	13,598,360	▲651,704	95.2%

(1) 品目別実績

単位：kg

品目		平成30年度	平成29年度	増 減	前年度比
古 紙	新聞	2,610,888	3,010,627	▲399,739	86.7%
	雑誌	2,830,146	2,886,199	▲56,053	98.1%
	段ボール	3,032,051	3,256,012	▲223,961	93.1%
	紙パック	11,649	11,668	▲19	99.8%
	その他紙類	870	1,070	▲200	81.3%
計		8,485,604	9,165,576	▲679,972	92.6%
缶 壺	アルミ	237,164	239,448	▲2,284	99.0%
	スチール	298,738	293,682	5,056	101.7%
	スプレー缶	5,143	5,062	81	101.6%
計		541,045	538,192	2,853	100.5%
び ん	生きびん	85,781	97,067	▲11,286	88.4%
	カレット	2,353,253	2,379,117	▲25,864	98.9%
	計	2,439,034	2,476,184	▲37,150	98.5%
ペットボトル		924,488	857,687	66,801	107.8%
ペットボトルキャップ		270	720	▲450	37.5%
食品トレイ		3,689	3,308	381	111.5%
プラスチック製ボトル容器		1,700	1,902	▲202	89.4%
電池		11,670	11,700	▲30	99.7%
衣類（古布）		175,248	169,230	6,018	103.6%
インクカートリッジ		793	870	▲77	91.1%
蛍光管		3,645	3,661	▲16	99.6%
粗大ごみ資源化分		359,470	369,330	▲9,860	97.3%
合計		12,946,656	13,598,360	▲651,704	95.2%

注1）ペットボトルキャップ、プラスチック製ボトル容器、インクカートリッジは、23年7月から拠点回収を開始した。

注2）食品トレイは、23年6月までは白色トレイのみ、23年7月から有色・柄付トレイを含めた食品トレイの拠点回収を開始した。

注3）蛍光管は、25年7月から拠点回収を開始した。

(2) 回収方法別実績

単位：kg

回収方法		平成30年度	平成29年度	増 減	前年度比
拠点回収	紙パック	10,140	10,280	▲140	98.6%
	ペットボトルキャップ	270	720	▲450	37.5%
	電池	11,670	11,700	▲30	99.7%
	食品トレイ	3,689	3,308	381	111.5%
	プラスチック製ボトル容器	1,700	1,902	▲202	89.4%
	衣類	129,470	122,680	6,790	105.5%
	インクカートリッジ	793	870	▲77	91.1%
	蛍光管	3,645	3,661	▲16	99.6%
計	161,377	155,121	6,256	104.0%	
集積所回収	新聞	621,930	750,660	▲128,730	82.9%
	雑誌	1,559,400	1,538,940	20,460	101.3%
	段ボール	1,962,030	2,158,490	▲196,460	90.9%
	アルミ	182,794	179,478	3,316	101.8%
	スチール	290,361	285,065	5,296	101.9%
	スプレー缶	5,143	5,062	81	101.6%
	生きびん	84,799	95,955	▲11,156	88.4%
	カレット	2,353,253	2,379,117	▲25,864	98.9%
	ペットボトル	873,030	802,040	70,990	108.9%
計	7,932,740	8,194,807	▲262,067	96.8%	
集団回収	新聞	1,988,958	2,259,967	▲271,009	88.0%
	雑誌	1,270,746	1,347,259	▲76,513	94.3%
	段ボール	1,070,021	1,097,522	▲27,501	97.5%
	紙パック	1,509	1,388	121	108.7%
	アルミ	54,370	59,970	▲5,600	90.7%
	スチール	8,377	8,617	▲240	97.2%
	生きびん	982	1,112	▲130	88.3%
	ペットボトル	51,458	55,647	▲4,189	92.5%
	古布	45,778	46,550	▲772	98.3%
	その他紙類	870	1,070	▲200	81.3%
計	4,493,069	4,879,102	▲386,033	92.1%	
粗大ごみ資源化分	359,470	369,330	▲9,860	97.3%	
合計	12,946,656	13,598,360	▲651,704	95.2%	

3 その他事業系リサイクル

単位：t

		平成30年度	平成29年度	増 減	前年度比
Rサークルオフィス文京 による古紙回収		41	42	▲1	97.6%
産業別リサイクル による古紙回収		251	227	24	110.6%
事業 用の 大規 模建 築物	再利用計画書提出数	302件	301件	1	100.3%
	発生量	33,414	32,815	599	101.8%
	再利用量	20,135	19,470	665	103.4%
	廃棄量	13,279	13,344	▲65	99.5%
	再利用率	60.3%	59.3%	1.0%	101.7%

注1) Rサークルオフィス文京は、床面積概ね3,000㎡以下の事業所による古紙回収である。

注2) 産業別リサイクルは、印刷製本業者による古紙回収である。

注3) 事業用大規模建築物のうち、事業用床面積3,000㎡以上の建築物は年一回再利用計画書を提出する。

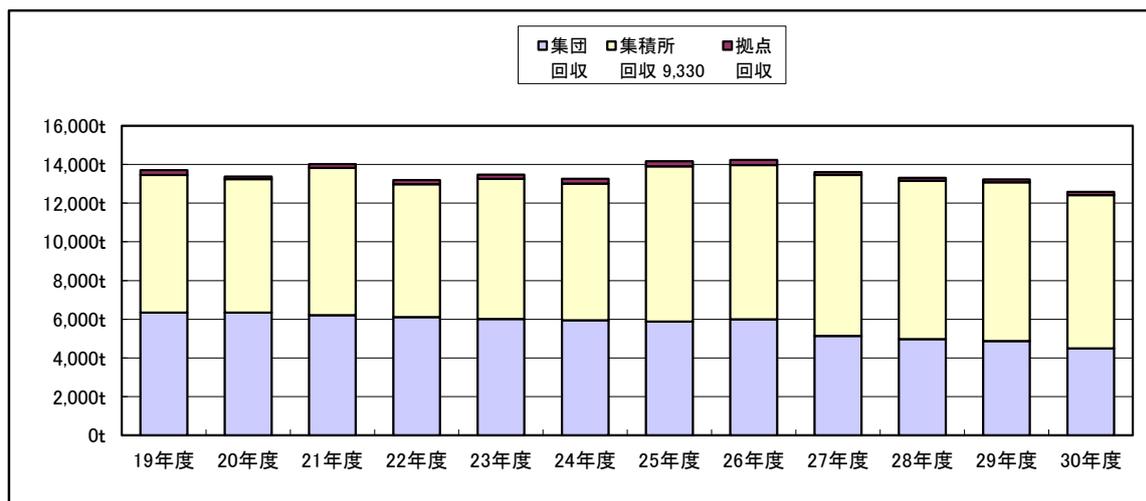
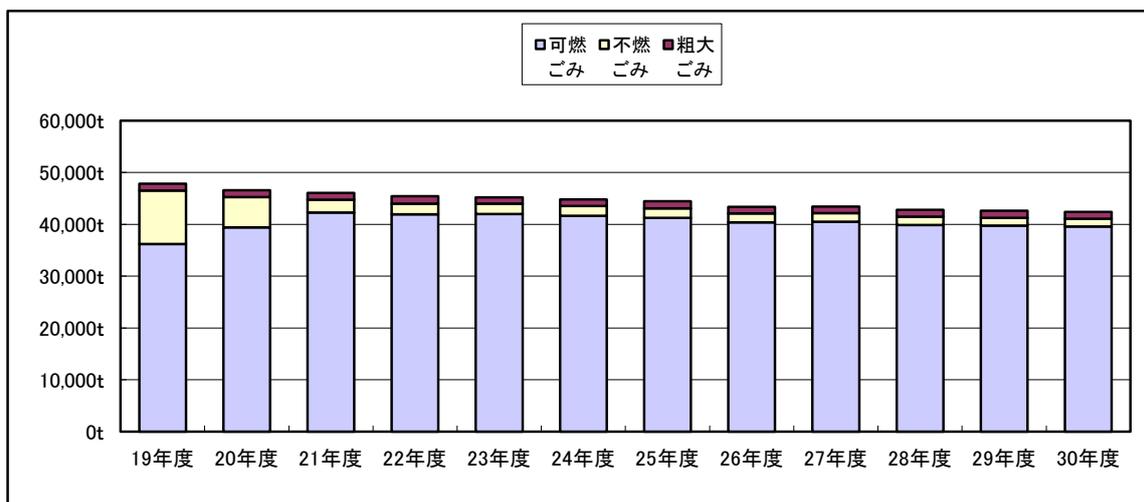
4 ごみ量の推移

単位：t

年度	区収集ごみ					資源				持込ごみ
	可燃ごみ	不燃ごみ	粗大ごみ	合計	指数	拠点回収	集積所回収	集団回収	合計	
19	36,226	10,322	1,285	47,833	54	248	7,110	6,343	13,701	26,149
20	39,421	5,850	1,304	46,575	53	129	6,902	6,340	13,371	24,373
21	42,283	2,436	1,360	46,079	52	187	7,616	6,210	14,013	24,785
22	41,922	2,081	1,410	45,142	51	213	6,881	6,105	13,199	24,317
23	41,983	2,000	1,237	45,220	51	211	7,245	6,015	13,471	23,284
24	41,644	1,871	1,265	44,781	51	235	7,074	5,948	13,258	24,074
25	41,274	1,816	1,347	44,437	50	263	8,015	5,886	14,164	24,175
26	40,409	1,692	1,283	43,385	49	268	7,966	6,001	14,235	23,189
27	40,522	1,666	1,254	43,442	49	157	8,312	5,143	13,612	22,551
28	39,861	1,597	1,317	42,776	48	155	8,191	4,968	13,315	23,171
29	39,755	1,517	1,324	42,596	48	155	8,195	4,879	13,229	23,211
30	39,585	1,486	1,314	42,385	48	161	7,933	4,493	12,587	23,868

注1) 持込ごみ量は、排出事業者及び処理業者が文京区から排出された一般廃棄物を東京二十三区清掃一部事務組合の処理施設へ持ち込んだ推計量である。

注2) 指数は、ごみ量が最大だった平成元年度のごみ量(88,464t)を100としたものである。



5 区民一人一日あたりのごみ量

算定方法：区収集ごみ量または資源量÷人口÷年間日数

単位：g

	平成30年度	平成29年度	増減	前年度比
人口	220,462人	216,697人	3,765人	101.7%
ごみ（区収集）計	526.73	538.55	▲11.82	97.8%
可燃ごみ	491.93	502.63	▲10.70	97.9%
不燃ごみ	18.47	19.18	▲0.71	96.3%
粗大ごみ	16.33	16.74	▲0.41	97.5%
資源計	160.89	171.93	▲11.03	93.6%
古紙	105.45	115.88	▲10.43	91.0%
缶	6.72	6.80	▲0.08	98.8%
びん	30.31	31.31	▲1.00	96.8%
ペットボトル	11.49	10.84	0.64	105.9%
ペットボトルキャップ	0.00	0.01	▲0.01	36.9%
食品トレイ	0.05	0.04	0.00	109.6%
プラスチック製ボトル容器	0.02	0.02	▲0.00	87.9%
電池	0.15	0.15	▲0.00	98.0%
衣類（古布）	2.18	2.14	0.04	101.8%
インクカートリッジ	0.01	0.01	▲0.00	89.6%
蛍光管	0.05	0.05	▲0.00	97.9%
粗大ごみ資源化分	4.47	4.67	▲0.20	95.7%
区収集合計	687.62	710.47	▲22.85	96.8%

注1) 端数処理の関係で合計値等が合わない場合あり。

注2) 人口は、10月1日現在。

注3) ごみ量には区収集の事業系ごみを含む。

6 リサイクル率

	平成30年度	平成29年度	増減
区収集のリサイクル率	23.4%	24.2%	▲0.8%
区内リサイクル率	33.5%	33.6%	▲0.1%

$$\text{区収集のリサイクル率} = \frac{\text{資源回収量}}{\text{区収集ごみ計} + \text{資源回収量}}$$

$$\text{区内リサイクル率} = \frac{\text{資源回収量} + \text{Rサークル量} + \text{産業別リサイクル量} + \text{大規模建築物再利用量}}{\text{区収集ごみ計} + \text{持込ごみ量} + \text{資源回収量} + \text{Rサークル量} + \text{産業別リサイクル量} + \text{大規模建築物再利用量}}$$